

川中島白桃・黄金桃収穫出荷講習会

R7年8月15日

JA グリーン長野 営農販売部

1. 生育状況

生育は、梅雨時期以降の高温干ばつより停滞し、昨年より7日程度遅れている。中生種は、糖度は高かったものの着色・軟果が進まず地色の抜けきれないまま、収穫期に突入した。しかしながら、8月盆前のまとまった降雨があり、果実は一気に吸水をし、軟化が進んだ。また、川中島白桃等晩生種の収穫前落果が発生した。核割れ果が多く、樹齢や樹勢により、差が大きいため、収穫には注意したい。今後の天気も高温干ばつのが継続される予報のため、着色ではなく、熟度優先の収穫を心掛けたい。

病害虫では、果実腐敗病は少ないものの、モモシンクイガやゴマダラメイガ、クワコナカイガラムシが目立っている。収穫前薬剤防除を徹底し、商品化率向上に努める。

2. 適期収穫の取組。朝取りが基本！

1) 熟し方

条件	早い	⇒	遅い
樹勢	弱い樹	⇒	強い樹
樹体	上部	⇒	下部
	外側	⇒	内側
枝	先端	⇒	基部
気象	曇天降雨	⇒	高温乾燥

2) 適期タイミングの判断 ※皮むけに注意！

- ①果柄部の地色：川中島白桃 … 緑白色になったもの。
黄金桃 … 薄い黄色～黄色。

②硬さ：手のひらによる弾力感。（果実硬度計指度・・・2.0～2.5 kgが収穫適期）

3) 収穫の仕方

①樹の上・外の大玉なものから。特に変形果（核割れ）は熟期が早いので注意する。

本格的な収穫は、開始から3日目あたりからピークとなり8日間位で終了が望ましい。

②収穫最盛期は、玉の大きさによる熟しの、差がなくなる。

③収穫の時間は、鮮度保持のため、果実温度が低い早朝に行う。

果実の温度が高い時間帯の収穫は、柔らかくなるのが早まる他、指の型が後で浮いてくる。

④収穫カゴに入れすぎて、下側の果実が打撲にならないように注意する。

⑤収穫用コンテナをキレイにしておく。長年使用したウレタンが濡れていると桃の果面が変色しますので、新品にしてください。

3. 果実腐敗病・スリップスの予防

灰星病・ホモプシス腐敗病・シンクイムシ類・ミカンキイロアザミウマの被害果を出したら、贈答や市場の信用がガタ落ちしてしまう。薬剤防除の徹底をし、被害を出さないようにする！

1) 薬剤防除

除袋後・収穫2日前防除の徹底・必ず行うこと。※情報参照

2) その他

①特に曇天雨が続く場合は丁寧に散布を行うこと。

②薬剤が掛かるように、樹の風通しがいいように、薬液がかかるようにしておく。

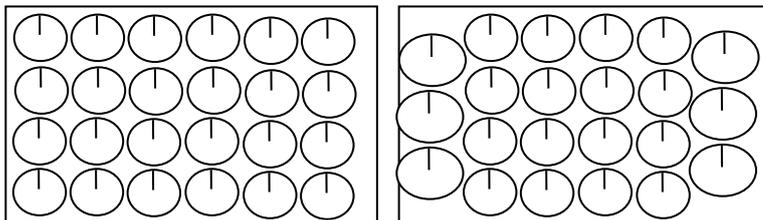
③腐敗病は、発見したら被害を拡大させないために必ず除去し土中に埋める。

4. 着色管理等

- 1) 新梢管理：日光が当たらない、薬液が通らない部位は、摘芯・切除処理をする。
- 2) 土壌管理：降雨後の排水に留意する。
高温・干ばつが続く場合は収穫中でも、夕方10a当り5mm程度の軽く散水を行う。
※やりすぎは糖度低下になる！
- 3) 葉摘み：果実上部の葉陰跡は等級が落ちになるが、こうあ部（ホゾ）周辺の葉跡は気にならないので、日焼けに配慮し見直しを行う。
やりすぎると着色・糖度等に悪影響を及ぼすので注意する。
- 4) 反射シート：十分な着色を得られたら撤去する。
シルバーマルチは圃場が暑くなり、身体につらく果実の軟化を助長し、みつ症の発生にもつながる。好天続き時はタイベックなど白いシートを使う。
- 5) 草生栽培：草を伸ばして余分な水分を吸わせ糖度の低下を抑える。
タイベックの下は草が伸びるので、敷く前に草を刈り取る。
土が固くなる通路などは積極的に伸ばし、土を柔らかくするようにする。

5. 出荷基準・荷受

- 1) もも・ネクタリン出荷基準・・・基準に従って予備選果を行い、生果・直売用・ネクターにしっかりと分けし、手取り向上・選果効率アップに繋げる。
 - 2) 注意点
- ①収穫コンテナに『もも』を入れる際には、整然と縫合線の向きを揃えていただければ、選果効率UP！⇒時間短縮⇒経費削減に僅かでもつながりますので、できる範囲でご協力を。



※コンテナをずらす際
コンテナの四隅の桃を
傷めないように。

- ②きつきつ、ゆるゆるに入れると、『もも』の側面が打撲になっているので気を付けましょう。
 - ③コンテナにはウレタンを必ず敷きましょう。新聞紙、薄くなった、または汚れたウレタンでは、ホゾ側が平らになってたり、汚れている事があり、せっかくの桃がもったいないです。
 - ④出荷伝票の記入にハンコを使用している出荷者は、雨や朝露で濡れている時、インクがにじんで、『もも』にインクが付いてしまう場合があります。対策として、透明ビニール袋に入れるかボールペン記入に変えて下さい。
 - ⑤出荷の際は、品種と箱数をもう一度確認しましょう。箱数違い・コード違い・無記名多し。
 - ⑥出荷伝票のメモ欄には、「最終」や「ピーク」などご活用いただけると助かります。
 - ⑦品種名は、適正に記入下さい。
例1：実際の品種は「川中島白鳳」だが ⇒伝票に「白鳳」と記入すると別品種で×
例2：「川中島白桃」を「川白」と記入 ⇒「川中島白鳳」と区別がつかないので×
一般アルバイトの方等、誰が見ても分かるように記入して下さい。
 - ⑧異品種混入がありますので、注意しましょう。(例：川中島白桃と黄金桃が混じっている)
- 3) 荷受け・荷受け日時
- ①各選果場（部会支部）の指示に従う。
 - ②特に荷受け予定の変更の際は、集荷所に張り紙をしますのでご覧下さい。